

市長と語る会(H27. 3. 6実施)における意見要旨

- (1) 府中に住んでよかったと思うこと
- (2) 10年後の府中のイメージ
- (3) 弟や妹、後輩たちのために望むこと
- (4) 18歳の選挙権付与、政治や行政に対する思い
- (5) 府中で変えたいところ

- (1) 府中に住んでよかったと思うこと

[参加者の意見]

○中央図書館は夜遅くまで開いていて、自習室もあり、落ち着いて勉強できる場所があるのはすごく良いことと思う。

○多摩川などにはグラウンドがいっぱいある、また、2000人以上が入るホールや美術館があるなど、スポーツ・文化の振興を市が積極的に支援してくれているのを感じる。

○季節ごとにいろいろなお祭りがあり、山車やお神輿、お囃子がとても盛んで、活気があり、府中に育って良かったと思う。

○緑道や公園など緑が多い。また、かぜのみちや郷土の森など、家族で休みを過ごせる所がある。

[市長から]

今年市制施行60年という節目の年であり、60年間の府中の発展を振り返ると同時に、この先のさらなる発展に向けて、市民の皆さんが暮らすまちとして何が一番大事なのか、という原点に立ち返り、三つのイメージに集約した。

一つは、府中というまちが、誰もがホッとひと息つけて、そしてまた明日に向けて活力がみなぎるような、みんなにとってくつろげる家のようなありたいと感じ、「やすらぎ」という言葉を選んだ。

また、自然災害の発生や高齢社会の到来に対して、みんなが支えあい、助け合える地域であるために、人と人がつながっていることが大事だと考え、「つながり」を2つ目の原点とした。

そして、「やすらぎ」と「つながり」で大きな安心を感じてもらい、それをステップとして、明日に向けて輝いてほしいと願い、「かがやき」を三つ目の言葉とした。

(2) 10年後の府中のイメージ

[参加者の意見]

○今でも、いろいろなお祭りがあるが、今後人口も増えていくと思うので、いろいろな世代のイベントがもっと盛り上がっているのではないかと思う。

○緑が多く、虫の声や稲穂など、都心ではなかなか経験できないものが残っていて、その中で大きくなった府中の子ども達が大人になっても自然を大切にする気持ちを持っている。

○10年前にあった畑とかが現在殆どなくなってしまったので、今から10年後は全部なくなってしまうのではないか。(昔のほうが落ち着いていたと思うので、なくなってしまうのは残念な気持ち。)

○10年後は寿命も延びていて、たくさんの高齢者の人達が元気で生活している。

○高齢者が多いということで高齢者を優先すべきと思うが、それ以外の保育園や子どもの遊び場が減って、子どもにとって住みやすいまちでなくなってしまうのは心配。

○10年後は、今よりもっとハイテクになっていて、これからの小さい子ども達はあまり不便さを知らないのではないか。

○今も緑がいっぱいあるので、10年後も人口は増えていると思うが、子どもの遊び場であると同時に、お年寄りにとってもいい散歩の場所であるような、どの世代にも愛される公園がなくならなければいいと思う。

[市長から]

今、府中駅の南口の再開発事業が進んでいるが、2年後の平成29年夏までには建物ができあがって営業を始めることになる。また、新しい学校給食センターを警察大学校の東側に建設する予定で、これも2年後の平成29年の2学期から作り始める予定。それから、まだ構想段階だが、市役所を平成34年には新しくしようと思っている。

それから、5年後には東京オリンピック・パラリンピックが行われ、外国のお客さんが大勢訪れるということ意識しないといけない。語学等について勉強していただいてボランティアとして外国のお客様を迎えてもらう、また和太鼓の方は活動の幅を広げて外国の方に楽しんでもらうこともあるだろう。

この先の10年には、結構いろいろな変化があると思う。

(3) 弟や妹、後輩たちのために望むこと

[参加者の意見]

○本を読むとか自分でペンを持って書くとか、人と対面したときにしっかりコミュニケーションが取れる大人になってほしいし、まず親世代がそのようであるべきと思う。

○パソコンやゲームなど便利なものにとらわれて勉強時間が減ってしまわないように考えないといけない。

○公園で小さい子を見かけるがベンチに座ってゲームをしている子が多く、公園には「ボールを使った遊びは禁止」と書かれていることが多く、もっと自由に遊べる場所があるといい。

[市長から]

何とかボール遊びができるような公園を作りたいと思うが、ボールが飛んでくる、ボール遊びをする声がうるさい、というような近所のご意見があれば、それを踏まえたルールを作らざるを得ない。やはり、公園の使い方については、みんなで知恵を絞る必要があるのではないかと思う。

[参加者の意見]

○自分達の頃は、今のようにゲームがない中で、例えば休み時間に自分達でドッジボールを進化させた遊びを作るなど、何もない日常に自分達で楽しみを作り出していったが、今の子ども達は、ゲームが発達しているために、そのような体験ができない環境にいるのかと思います寂しく感じる。

[市長から]

この10年で、通信手段にイノベーションが起きて、今身の周りがそのような文明の機器でどんどん埋められている。今の子ども達は確かに、全部与えられたものの中で楽しむことができるが、自分から作り出していき、失敗する、粘り強く考えるという経験や力はつかないのではないか。そうならないように、10年後に向けてしっかり教育をしていかないといけない。

[参加者の意見]

○情報の加速化、拡大化の流れは、もう変えることはできないと思うので、それはある程度仕方ないものとして、そのうえで何か、創造力や粘り強く考える力の育み方を考えざるを得ないと思う。

○今の子ども達と関わっていて、自分達であれば奮起する所で諦めてしまったり、誰かに怒られたことがなく悪いことをしているのに気づかなかったりするのをよく見るので、愛のムチではないが、「君たち駄目だよ」と言える人がもっと増えれば良いと思う。

○例えば府中公園のような大きい公園がもっと増えたら、近隣とのトラブルもなく子ども達も遊べると思う。また、大人がいつもいるような施設の近くであれば、監視の目があるから、安全に伸び伸び遊べる。多摩川のグラウンドなども、時間帯を決めて大人の監視もしっかりつけて、その時間帯は子ども達で使っていいよ、ということにすれば子ども達もしっかり体を動かして遊べるのでは。

○近所の公園はアパートやマンションが建て込んでいるので、そこではさすがに金属バットを使って野球をするとうるさいが、府中公園では

あまり迷惑にならないと思う。公園ごとにルールを決めればいいのではないか。

[市長から]

子どもにとって、家庭だけではやはりゲームやテレビになってしまいがちだし、学校は勉強をするところで自由に自分のやりたいことをやって何かを発見するということでもない。そうすると、その足りないところを、地域で、地域の皆さんの力を借りて、やっていくということが必要になってくるということではないか。

[参加者の意見]

○小学4年生ごろから、ジュニアリーダー講習会に入り、自然に触れたりする体験をたくさんさせてもらったが、そこでは、大人がボランティアで教えたり手伝ったりしてくれていた。自分が大人になって、今度は手伝ってあげたいと思う。

(4) 18歳の選挙権付与、政治や行政に対する思い

[参加者の意見]

○選挙、政治への関心の薄さについて、皆、自分が1票投じてても何も反映されないのではないかと考えているのではないか。また、1票の大事さというものを知らないのではないか。

○日本の子どもは、いつまでも子ども扱いされているから関心がないのではないか。小さいときから大人扱いされていれば、自分で考えるという能動的な態度が身につくのではないか。そのような環境を整えてあげるのも、我々の世代の役割なのではないか。

○選挙権があるという意識を持てば、興味や関心が湧き、しっかり政治を学ぼうと思うし、1票の重みにも気づくと思うので、18歳からの選挙権はいいと思う。

○環境を整えることで、意識も変わってくると思うので、18歳になったら選挙権が与えられるということはいいこと。

○選挙権が与えられる年齢というより、小・中学校のときから、授業でちゃんと意識付けをさせておくことで、高校の公民の勉強も興味を持てるし、大人になればちゃんと投票に行こうという気持ちにつながるのではないか。社会科見学のように、投票の現場に行ってみるとか、小さいうちに選挙に対する実体験があるとよいと思う。

(5) 府中で変えたいところ

[参加者の意見]

○けやき並木の歩道については、歩行者と自転車の通り道を分けていて、いい取組みだと思うが、実態は自転車が物凄いスピードで走っていて、お年寄りとぶつかっている現場を何回か見たので、もう少し安全にならないかと思う。

○かぜのみちは夜真っ暗だが、結構走っている人も自転車の人も多く、中には灯りを持っていない人もいて危ないので、街灯とかあるとよい。

○くるるのエスカレーターがとても早く、お年寄りがなかなか乗れない様子をよく見るし、事故があった話も聞くので、細かい視点で見てほしいと思う。

○外国人の方も結構いらっしゃるし、オリンピックも開催されるとのことなので、街中に英語の表記が増えればよいと思う。